



みなみおおすみ

みんなの議会

第49号

平成29年
8月号

5月・6月・7月会議

補正予算

所管事務調査報告

一般質問

元気みなぎる町民補助金 本庁舎建設事業などを追加

6月会議は7日から23日までと29日を加えて18日間開催され、7月会議は20日の1日間開催されました。18議案を審議し、全て可決しました。また、陳情1件を採択し、人事案件14件に同意しました。

補正予算（一般会計）

9億6742万円を追加し

総額75億745万円に

町道維持・道路新設改良工事



5億 5,197 万円

町民の安全性や利便性を考慮し、より安全で便利な通行を確保するため、町道の計画的な補修や改良工事を実施します。

【事業内容】

佐多岬公園線道路改良舗装工事2億9千万円を含む

- ・道路新設改良工事…… 8路線
- ・道路維持工事 …… 15路線

多目的健康広場 整備事業



1億 105 万円

住民の健康増進、各種イベント等交流の拠点としての機能を持った広場を整備します。

【事業内容】

手数料	……………5万円
委託料	……………150万円
工事請負費	……………9,850万円
保証補填及び賠償金	………100万円

元気みなぎる 町民補助事業



1,640 万円

住民の高齢化や単身世帯が多くなっている自治会の現状を踏まえ、自治会機能の維持と負担軽減を図ります。

【事業内容】

自治会が負担する各種負担金及び公民館活性化経費について支援します。
1世帯当たり5千円を交付します。

本庁舎建設事業（設計委託費等）

8,328 万円



庁舎の耐震化については、前年度より各種検討委員会や町政座談会等において、議論検討して参りましたが、結論として、「新庁舎建設」と決定しました。

後世に残すべき防災拠点として機能を十分発揮できる庁舎建設に取組みます。

【事業内容】

出会謝金	15 万円
費用弁償	9 万円
食糧費	1 万円
委託料	8,302 万円

現地建替にて新庁舎建設を決定！

総務課長 平成28年度まで24億4130万円を執行しており、6月補正予算の3億6510万円と庁舎建築に係る12億3500万円を加えると40億4140万円となります。

大坪議員 合併特例債の現在の借入額と新庁舎建設後の借入額を伺います。

議案の質疑

チェックします

庁舎建設事業予算に対する

反対

討論

賛成

水谷議員

私は、反対の立場で討論します。町長は住民説明会において、新しく庁舎を建設すると判断した場合は、検討委員会をつくり場所や規模等を検討したうえで決定すると言ってきたにも関わらず、6月23日新築建替の意向を発表され、同時に現地建替も示唆されました。いとも簡単に住民との約束を反故にし、事業を進める事を看過する事は出来ません。併せて、6月会議終了と同時に、その意向を表明され議会で全く議論することなく、その設計予算案を採決する事は断じて許すことはできません。町の将来を左右する様な事業は、丁寧かつ慎重に熟議を重ねたうえで判断すべきと考えます。

木佐貫議員

私は、熊本地震により、ある日突然前触れもなく地震が発生した時庁舎は、防災の拠点として町民が安心安全として使える様な施設でなければならぬと考えます。よって庁舎は、耐震化をする事が望ましいと思われれます。また、現在の建築基準法で長期的に使える新築で行うべきだと思います。併せて、合併特例債を使う期間でないと町民の負担が増えます。合併特例債を有効に使う事が将来的な町民の負担が軽減されると思います。我々の世代で解決しない、次の世代に問題を先送りするのはいけません。よって私は賛成の立場で討論します。

採決の結果 → 8対3で可決

損害賠償請求和解へ

和解金650万円

鹿児島地方裁判所に係争中の柔道整復施術療養費及びはり・灸等施術料補助金に係る損害賠償請求事件について、訴訟上の和解案を承認しました。

1、原告 南大隅町

2、被告 宇野 仁一

3、和解内容

- ① 被告は、柔道整復施術療養費に対し和解金250万円を支払う。
- ② 被告は、はり・灸等補助施術料補助金に対し300万円を支払う。
- ③ 和解金上乗せ額として50万円を支払う。
- ④ 裁判費用の一部等として50万円を支払う。

4、和解理由

本事件については、鹿児島地方裁判所から職権による和解勧告がなされた事及び被告の支払い能力等を勘案し、和解しようとするものである。

訴訟費用として、これまで支払った173万円に加え、和解金の1割程度が弁護士に支払われる予定です。

私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は裁決には加わりません。

		浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	持留 秋男	大久保孝司	木佐貫徳和	川原 拓郎	大村 明雄
予算	一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計補正予算（国民健康保険・診療所・介護保険）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	本庁舎建設事業に関する補正予算	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	-
条例	町長等の給与に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議会基本条例（他1件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	佐多岬公園観光案内所条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契約	多目的健康広場整備事業（1工区）（他7件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人事	教育長・教育委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

教育長に山崎氏を選任

教育長

山崎 洋二氏（再任）
教育長として2期目を迎えることになりました。南大隅町教育振興のために全力で頑張ります。



教育委員

畠中 泉氏（再任）

農業委員

根占地区8名
佐多地区4名

横原 洋伸氏
田淵 哲朗氏
富田 良成氏
溝田 耕一氏
橋口 初男氏
淵脇 耕二氏
松山 和子氏
後藤 望氏
徳留 徳次氏
東山崎 勝二氏
吉永 一雪氏
北之口 洋二氏

教育産業常任委員会所管事務調査

〔佐多岬エントランス広場観光案内所等調査〕

平成29年5月25日に佐多岬エントランス広場及び観光案内所と併せて第二岩崎隧道補修工事の進捗状況の調査を実施しました。調査にあたっては、現地を確認しながら観光課及び建設課の説明を受け、委員からの質疑に答えてもらいました。



佐多岬プレオープンに向けた取組み



第二岩崎隧道補修工事進捗状況

【結果】

① 佐多岬関連施設の管理経費として、入場料あるいは協力金などの徴収の検討

② プレオープンに向けた受け入れ体制や情報発信の早めの取り組み

③ 第二岩崎隧道の完成後の事故防止（出口の落石対策）に万全を期されたい

以上三項目を担当課へ報告いたしました。

教育産業常任委員会所管事務調査

〔学校等調査〕

7月3日、神山小学校・ねじめ幼稚園・根占中学校・佐多小学校・第一佐多中学校を視察し、現況等の説明を聞き、活発な意見交換を行いました。給食センターは、佐多支所にて意見交換をしました。

今年、導入された電子黒板の活用状況や学習環境を視察し、各学校等及び委員からの要望・提案事項を取りまとめて担当課へ報告しました。

● 神山小学校

・ 体育館の補修（雨漏り、コンクリート剥離、床面の競技種目のラインなど）

● 佐多小学校

- ・ 有害鳥獣・蜂などから児童を保護する対策（隣接地の山桃の撤去を依頼するなど）
- ・ 渡り廊下の雨漏り対策、北側校舎の照度確保などの環境整備
- ・ 学習支援員の増配を要望

● 根占中学校

・ 部活動の指導者の確保

最後に、全学校共通して熱中症対策を兼ねて教室の室温調査を行い、快適な学習環境を整える事を検討するように要請しました。



佐多小



神山小授業風景

先進地に学ぶ!!

広報広聴常任委員会所管事務調査

今年度より新しく設置された「広報広聴常任委員会」にとって、初めての所管事務調査となる、福岡県大刀洗町と那珂川町の事務調査を実施しました。

大刀洗町は平成28年度全国広報コンクールで優良賞に、那珂川町は同コンクールで表紙写真賞の金賞に輝いています。

今回の調査目的は、従来の編集の在り方にとらわれず、より良い誌面づくりの為に様々な手法を学び、それらを「みんなの議会」の編集に活かす為のものです。

実際、今回の事務調査で多くの事を学んだのは言うまでもありません。見易く、読み易く、わかり易い内容で、町民に親しまれる広報誌づくり、併せてインターネットを利用した議会中継の配信やSNSの活用など委員それぞれが、出来る事、やるべき事を確認できた調査となりました。

参加した議員より下記の様な報告書（一部のみ掲載）が提出されました。今後、変わっていく「みんなの議会」をお楽しみください。

委員長 水谷 俊一



大刀洗町



那珂川町

所管事務調査報告書

【木佐貫委員】

表紙には子供を使用し、議案に対する各議員の判断や、討論内容が掲載されていて、わかり易い。議会広報要項も必要であり、「町民の声・傍聴者の声」等も掲載すべきだと感じた。

【日高委員】

専門用語等を使用せず出来る限りわかり易い表現で、理解しやすく親しみのある広報にすべきで、住民との双方向型の誌面作りを心がけるべきと思った。

【後藤委員】

文章のつめこみではなく、空白や写真、イラストなどを使用して、読み易い広報誌づくりを心掛けたい。また、時代にあった広報の仕方を学んだ。まずは、Facebookでの広報に取組んでみても良い。

【津崎委員】

本町は、インターネット中継もなく、遅れている事を痛感しました。中継により議員・執行部双方に緊張感が生まれ、録画中継で見る事により、町政に対し興味や関心を持つていただけたと思います。

【大坪委員】

予算の数字の表記が、非常にわかり易い。また、一般質問の答弁に対する追跡記事も掲載したい。「議員のつぶやき」も掲載して欲しいと思います。



掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報広聴常任委員会が校正したものです。
全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でご覧いただけます。

掲載順	質 問 事 項	質問議員
1	・定住促進について ・町営住宅の駐車場について ・コミュニティセンター、多目的集会施設等の災害について ・漁港の整備について	木佐貫 徳 和
2	・特産品の原材料確保（保存）について ・防災について	松 元 勇 治
3	・公衆トイレ・多目的トイレの現状と今後のあり方について ・コミュニティバスの運行の現状とその他の交通手段等の今後のあり方について ・佐多岬第2駐車場の待合所について	津 崎 淳 子
4	・交通難民の支援について ・農業振興策について ・核関連施設について	大 坪 満寿子
5	・ふるさと納税について ・根占運動場活用について ・雄川河川改修について ・農政について	大久保 孝 司
6	・3期目施政方針「町民が主役」について ・防災対策について ・観光施策について	浪 瀬 敦 郎
7	・観光振興について ・公共交通について ・子育て・教育支援について	後 藤 道 子
8	・職員の綱紀粛正について ・庁舎の耐震化に伴う庁舎のあり方について	水 谷 俊 一

ふるさと回帰フェア について問う



議員 ふるさと回帰フェアはどのような趣旨で開催され、その想定される効果等を伺います。

町長 このフェアは「田舎暮らし」や「ふるさとへの回帰」を考

えている人を対象に移住相談や情報提供を目的に、ふるさと回帰支援センターが主催して行われています。本町の魅力・移住支援施策等の情報発信により移住促進に効果が期待できます。

議員 全国からどの程度の参加で本町のブースは何名来られましたか。

企画課長 全国から300の市町村が参加しており、本町のブースには18名ほど参加がありました。

議員 田舎暮らしに憧れる人が多いという事がわかりますが、いろいろな年齢層がおられ、やはり生活の糧がないといけませんの

で、町内の企業とタイアップされて、

仕事・住宅の確保・子育て支援・教育の環境・自然の環境などをセットで作り面談されたらいいと思います。それとリタイヤされた方はいろいろな趣味を持たれて田舎暮らしを検討されます。いろいろなメニューを作り紹介するのはどうですか。

企画課長 そのような方向で検討させていただきたいと思います。

公営住宅の駐車場 について問う

議員 公営住宅の駐車場は、戸数との充足率ほどの程度で、不足している所は駐車場の整備は考えられないか伺います。

町長 本町の管理住宅として21箇所

の団地がございます。全体平均の充足率は132%であります。が団地によっては世帯数に対して駐

車場が不足していることは認識しています。現在不足しています団地につきましては、近隣の町有地などの利活用を進め、団地の居住環境の適正化に努めることが重要だと考えますが、住宅の空き状況を加味しますと、現在のところ、駐車場の新設整備は計画しておりません。

議員 最近の住宅建設は駐車場、排水溝、遊具施設等の付帯施設まで整備されておりますが昭和60年代の建設は建物を作るのだけを優先して、付帯工事、駐車場などは後回しになったのが現状であります。

伊座敷の浜団地は16世帯で7台分の駐車スペースしかありません。夫婦で働いておられて一世帯2台所有の方が多い現状であります。又、第一佐多中学校前の住宅は砂利舗装で草取りに苦慮されておられます。そのような個所を年次的に整備できないでしょうか。

建設課長 総務課財産関係と調整しながら、整備舗装は検討してまいりたいと思います。

辺塚漁港の整備について問う

議員 辺塚漁港に入る町道及び辺塚漁港の整備計画は考えられないか伺います。

町長 平成27年11月に九州防衛局に道路拡幅、広場の確保、棧橋の拡大、防波堤の延長などにつ

きまして要望したところであります。現在、「防衛施設周辺整備事業」の新規事業の採択要件の一つであります、「費用便益分析」を行うべく「交通量調査」を実施しております。その調査結果を待つて採択に向けて要望することとしています。次に辺塚漁港の整備計画につきましては、防衛省の補助事業で実施してから3年以上が経過していることから今後、漁民の動向・漁法の変化・漁船の増減などを調査し、機能保全計画に基づき関係機関と連携を図りながら検討していきたいと考えております。

議員 射撃演習期間中漁民は操業もできなく、警戒船とか標的を沖合まで引き出したりして協力をしております。自衛隊との因果関係は十分ありますので、整備計画を要望していただきたいと思います。

特産品の 原材料確保（保存）に ついて問う



議員 原材料として一年中使用することができないための、冷凍保存する施設は出来ないか伺います。

町長 農産物や海産物は、出荷の時期が限られており、規格外については加工品の原料として利用されますが、最終的には廃棄されているのが現状でございます。農産物等を急速冷凍や真空パックして、一次商品を二次化するためのストック場所として冷凍庫に保存していくことは必要と考えます。冷凍庫設置について、有利な事業を精査し、導入に向け検討していきたいと考えます。

議員 一年中を通して冷凍する食材はあります。（辺塚ダイダイ、たんかん、マンゴー、パッションフルーツ、きのす、きびなど、とびうお他、ジビエ料理の獣肉など）農林水産物等に付加価値を付けることにより所得の維持、利益還元のためにも冷凍庫を要望します。

防災について

議員 昨年の台風16号被害箇所への修復作業が行なわれているが、未完全な場所を把握し、2次災害対策はとられているか伺います。

町長 町管理の道路等の災害は、全体で89件で倒木被害が多く復旧については、道路5件、河川1件の災害工事を実施したほかは、30万円以下の修繕が大半でありました。崩土除去や倒木伐採など83件を処理しております。修復未完了地として辺塚の湊原村山線の法面崩し及び川北山手線の倒木及び落石防止がございますが、湊原村山線につきましては、今回の第2号補正予算に設計委託料を計上し、法面保護工を実施し、川北山手線の落石防止対策は、大型土嚢を積み二次災害防止に備えております。農業用施設が被害を受けた23戸の経営体が国の農業施設復旧支援事業の認定を受けたところで

す。本年3月までに10戸の各農業施設の補修が完了しており、残り13戸所有の農業施設につきましても、ほとんどの施設が工事に着手して、二次災害に遭うことがないように対応してまいります。

議員 災害により孤立した場所等を無線による通信手段はどのようなに行なわれるか伺います。

総務課長 移動系を各分団の車に13分団プラス2台、トランシーバーが70台、根占、佐多支所間はMCA無線、衛星電話を使用することとなっております。

議員 災害現象の種類に応じた避難訓練はどのように計画されているか伺います。

町長 本町では、毎年9月の「防災の日」の訓練を中心に消防団と地域住民による避難訓練を実施しております。今年は9月3日に町内全域で土砂災害や地震・津波を想定した訓練を実施する予定です。今後は、防災の専門的知識を持った「防災専門監」を配置し、防災訓練等の立案や町民の防災意識の啓発を行い、本町の防災力の充実強化を図ってまいります。

議員 介助等が必要な災害弱者が利用できる施設を住民に周知する計画はあるか伺います。

町長 防災担当課、関係機関等と連携を図りながら、速やかに避難できる体制を充実させるとともに、避難できる施設等については広報誌等を通じて周知してまいりたいと考えております。

議員 地区社協の仕事内容、組織のあり方はどのようなことを行なうか伺います。

福祉課長 地区社協につきましては、地域の互助、共助を作り上げるために、地域住民による福祉の自治組織として地域の中で設置していくことと考えております。地域の見守りや災害時の避難体制についても話し合っており、避難所等に避難が必要と思われる方々は概数で39名程度で今後、真寿園、蒼水園等に災害時の協力協定を結べないか協議、相談を進めたいと考えております。

議員 昨年の台風16号を教訓に、反省しPDCAサイクルを活用し、早めの避難や周知することにより減災に努めていただきたい。

鹿吾佐線沿いのトイレを増やす予定はないのか



町長 現時点では、この区間の設置は厳しいです。

議員

町内21ヶ所のトイレを調査すると、国道、県道沿いにトイレの案内板があるのは6ヶ所で、障害者トイレ表示の案内板は10ヶ所中2ヶ所です。案内板の設置や観光マップにトイレ表示の記載やインターネット等、今後考えの予定はないか伺います。

観光課

通告を受けて、町内のトイレを回り、案内板の不足を把握しました。町や観光協会のホームページ等を活用したり観光案内マップも考えているところです。

議員

女性に必要な備品で、カバン掛けフックは、21ヶ所中5ヶ所で、汚物入れは、11ヶ所でした。全ヶ所に必要だと思いますが。

観光課

備品の不足、修理につきましては、再度検討して早急に改善すべきものを優先的に改善していこうと考えております。



議員

トイレの管理は、チェックを行っているのか伺います。

町長

公衆トイレの管理は、指定管理者施設を除き、シルバー人材センターと近隣自治会に委託しています。定期的な管理・清掃は、港公園・台場公園が週3回、その他の施設については週1回から2回の委託をしています。

議員

管理が出来ていない所もあるので、行政も一任するだけでなく、今回のように年に何回かチェック指導管理は必要だと思います。



コミュニティバスについて

議員

運行されていない地域での運行は、考えられないか伺います。

企画課

コミュニティバスの運行空白地域は、辺田別府地区、野尻野・高田方面です。廃止路線代替バスが運行しているのが伊座敷根占間です。野尻野・高田地域は、住民要望を聞きながら方向性を検討します。伊座敷根占間は路線バス優先となつていたので路線バスを活用して、またこの区間は乗降フリーではない温泉バスの利用も図っていきたいと考えます。

議員

高田・野尻野方面は、聞き取りやアンケート調査だけでなく、実証運行を検討してください。根占海岸沿線の方達は、バス代を払い、コミュニティバスの利用者は無料というのは不公平が生じませんか？コミュニティバスの通つてない地域の方に交通手段等の補助をご検討ください。



この他に、「佐多岬第2駐車場」の悪天候時の待合所の整備について」も質問しました。

議員のひとり言

観光客、障害者、女性の立場になってみて☆

交通難民支援策は？



議員 温泉送迎事業やスクールバスとの混乗事業でバスを利用し買い物・病院にもついでに行けるとの声もありますが、身体の不自由な方や一人暮らし、老々介護の方は交通手段がなく大変不自由しているとの声を多く聞きます。

この現状をどの様に捉えているのか伺います。

町長 コミュニティバス等の交通手段を利用することが難しい高齢者、重度障害のある方が一番の交通弱者であると考えられることから乗合タクシーやタクシー利用券による助成を行っています。

議員 コミュニティバス利用にも該当しない川北・川南地区の高齢者からはタクシーの待ち時間も長く、近場への料金が割高との声も聞きます。

料金を2段階に分ける考えはないか伺います。

企画課長 昨年は迷惑をかけた時期もありましたが、今は6名で運行し準備はできています。下場地区の乗合タクシーは料金も含めて検討していきたいと考えます。

行し準備はできています。下場地区の乗合タクシーは料金も含めて検討していきたいと考えます。

議員 高齢化率鹿児島県トップの南大隅町にとって交通難民問題は避けて通れない問題です。早急な対応を希望します。

南大隅町にとって交通難民問題は避けて通れない問題です。早急な対応を希望します。

町長 今後、在宅の高齢者の方などの意向に沿った利用しやすい運行方法等を模索したいと考えます。

今後、在宅の高齢者の方などの意向に沿った利用しやすい運行方法等を模索したいと考えます。



「タクシーまだかなあ」

圃場周辺に公衆トイレ設置の考えは？

議員 農家の労働力の半数以上を女性が占めていることはご存知だと思いますが、農業従事者の多くの女性が圃場周辺の公衆トイレ設置を切望しています。農家の嫁不足・担い手不足・後継者不足と言われ続けてきましたが、トイレ問題も一つの要因と考えます。

農家の労働力の半数以上を女性が占めていることはご存知だと思いますが、農業従事者の多くの女性が圃場周辺の公衆トイレ設置を切望しています。農家の嫁不足・担い手不足・後継者不足と言われ続けてきましたが、トイレ問題も一つの要因と考えます。

モデル的に小瀬戸口周辺に公衆トイレ設置の考えはないか伺います。(小瀬戸口とは西本・川原・浦・北之口周辺)

町長 農業従事者に限らず屋外で作業される方々には切実な問題と考えます。水道・電気の配備・場所の確保などに困難が予想されますが、色々な要素を勘案し広域的に考えていきます。大規模圃場周辺、交通量の多い幹線道路、観光地周辺を勘案し観光課と協議検討してまいります。

農業従事者に限らず屋外で作業される方々には切実な問題と考えます。水道・電気の配備・場所の確保などに困難が予想されますが、色々な要素を勘案し広域的に考えていきます。大規模圃場周辺、交通量の多い幹線道路、観光地周辺を勘案し観光課と協議検討してまいります。

議員 旧根占町議会でも何度か議題にあがったと伺いますが、なんの解決もみないまま今日に至っているのはどの様な理由からか伺います。

旧根占町議会でも何度か議題にあがったと伺いますが、なんの解決もみないまま今日に至っているのはどの様な理由からか伺います。

経済課長 平成9年以降5・6人からの質問がありましたが、駐車場スペースの確保、衛生面、維持管理問題等があり、そのままであります。

核関連施設について

議員 原子力関連施設断固反対宣言は守っていただけるか伺います。

原子力関連施設断固反対宣言は守っていただけるか伺います。

町長 2期目、3期目の出馬の際の公約にも「核関連施設受入拒否」を掲げ町民の多くの支持を頂いています。

2期目、3期目の出馬の際の公約にも「核関連施設受入拒否」を掲げ町民の多くの支持を頂いています。

これまで同様、条例に基づく政治信条であります。

議員 国が発表予定の核の最終処分場候補地選定も大幅に遅れています。もし、南大隅町が候補地の1つにあがった場合、町長権限でこの町を守っていただけるのか伺います。

国が発表予定の核の最終処分場候補地選定も大幅に遅れています。もし、南大隅町が候補地の1つにあがった場合、町長権限でこの町を守っていただけるのか伺います。

町長 条例を遵守し断固拒否します。

議員 町長の断固反対というその姿勢を今後是非貫き通していただきたいと思います。

ふるさと納税について問う



議員 総務省から指摘された工芸品による返礼品は本町特産品

と思います。何いいます。

町長 高額返礼品西陣織袋帯は本町返礼品では唯一の工芸品であり、生産者、寄附者に不利益が及ばないよう年度内は継続する旨の報告を行った。また生産者との協議で制度に合った返礼品作成にご理解をいただいており、本町工芸品のPRとふるさと納税推進に努めてまいります。

議員 ふるさと納税収入は次年度財源として充当すべきと思うが、ふるさとおこし基金条例を見直す考えはないか伺います。

町長 28年度ふるさと納税額は大きく増加し、3億1千5百4万8千円となりました。寄附全額をふるさとおこし基金に積み立て返礼品等の経費は一般財源で措置しております。

適正な基金積立額、取り崩しについて、見直しを行う考えであります。

企画課長 今年度見直しして、必要経費を基金から充当するよう検討します。

根占運動場について

議員 排水対策をされた多額な整備事業による根占運動場を駐車場として使用される考えを伺います。

教育長 現在は水はけが悪くなり、雑草が茂っている状況であります。雨天時には利用を禁止し、除草やグラウンド整備を行い適切に管理して必要最低限の頻度で駐車場利用していく考えであります。

雄川河川改修について

議員 雄川河川改修工事は当初計画から13年の遅れと思うが、県

への要請は毎年行なわれているか、また29年度計画は示されているか伺います。

町長 大隅地域土木事業連絡会や行政懇話会等、公的会議で毎年要望しておりますが、延長及び断面の規模が大きい事や予算配分縮小により長期化しております。29年度事業計画は広域河川改修工事費として一億円予算計上され、28年度事業に続き雄川橋上流に護岸工、掘削工をされる計画です。

議員 馬場之川河口から北之口橋付近までの寄洲、中洲の除去は計画されているか伺います。

町長 流域の全面的掘削は計画されていませんが、馬場之川河口から北之口橋付近までの河川断面が狭い区間は部分的に掘削工を実施される予定であります。

農政について

議員 二年目となる新規就農者研修制度事業の28年度事業実績を伺います。また前年実績を踏まえた本年度の計画を伺います。

町長 本町で就農を志す方が、安心して農業研修に取組める目的で夫婦の場合月25万円、単身者は月15万円基本的に一年間生活支援する事業であります。28年度は移住希望者数名と面談しましたが、移住まで至っていない状況であります。本年度は研修生がより就農しやすい制度としての運用を念頭に移住策と併せ、第一次産業従事者の確保に努めます。

議員 28年度の詳しい実績状況を伺います。

経済課長 単身者3名、夫婦世帯4名の相談があり、その内本事業の活用はありませんでしたが、2名が新規就農者として、営農されています。

議員 研修技術指導者は選出されておられるか伺います。

経済課長 研修先については、経済課で個々に当たりお願いしている状況です。

議員 新規の就農支援資金50万円の用途を伺います。

経済課長 就農に必要なとされる経費、就農開始資金として一名分を計上しております。

町民が主役の キャッチフレーズの 基本的な政策趣旨を問う



議員 キャッチフレーズとして
発案された政策趣旨を伺い
ます。

町長 多くの町民とふれ合いを
深める中、様々な町政課題
をお聞きしました。自治組織のス
タイルは地域に昔からの風習や文
化の違いがありますが、町政推進
の基本は町民であり自治会であり
ますので、いろいろな分野にわたり
「町民が主役」という基本姿勢で町
民のため政策展開していく考えで
あります。

議員 高齢の年金生活者にとつ
ては、自治会における会費
等の納入、大変苦勞されていると
聞きますが、そこに対して、対策
は何か考えられないか伺います。

町長 各自治会の世帯数に対し
ての交付金という事を考え
ておりますが、「元気みなぎる町民
補助金」であります。

議員 各自治会運営費として使
われると思いますので、早
い時期に望んでいらつしやる声を聞
きますので、スピーディーな対応を
取っていただきたいと思ひます。

津波発生時の避難 訓練を実施の予定 はないか問う

町長 本町では、今後発生が予
想される南海トラフ地震や
平成23年3月に発生した東日本大
震災などを契機に、毎年、9月の「防
災の日」の訓練の日に各地区分団
内の自治会を交代で、消防団と地

域住民による地震・津波の避難訓
練を実施しております。現実的な
事象を想定した訓練は大変重要で
ありますので、今後は対象のすべ
ての自治会と各消防分団や校区公
民館等と連携した合同訓練も計画
したいと考えております。

議員 防災マップは役立っている
と思いますが、各家庭に、「ど
こが避難場所ですよ」というよう
なシールがあればわかるんじゃない
かと思ひますがいかがでしょうか。

総務課長 避難場所の案内等は以前
防災マップを作成いたしま
して、周知を図っておりますが、そ
れが周知徹底されていない部分も
ございましたので、自治会長会で
自主防災組織のお願いもしている
所でございます。今後、防災専
門監の配置も決定されましたので、
そこを中心にとどの様な周知徹底を
する方法があるのか考えつつやって
いきたいと思ひます。

議員 やはり訓練は大事ですの
で、各自治会に職員も担当
が配置されておりますので、是非
協力をいただき訓練を年1回は各
自やっていただきますよう通達し
てください。

町への入込客の推 移をどの様に想定 されているか問う

町長 佐多岬への入込客数は、過
去5年間では3万1千人か
ら7万人の間で推移しております。
その中で、平成25年度は、旧佐多
岬ロードパークや公園への入園が
無料化になったことから6万9千
人と大幅に増加しております。こ
のような中、町では「南大隅町観
光振興基本計画」を作成し、平成
26年度から30年度までの観光振興
策を具体化したところでございま
す。佐多岬の整備の完了が予定さ
れている平成30年度は15万人と目
標値を定めております。7月22日
には、公園のエントランスの観光案
内所や駐車場が供用開始されるこ
とで、来訪者が増加することが見
込まれます。

議員 昭和40年代の新婚旅行ブ
ーム時までの状態に持つてい
くのは厳しいと思ひますが、今後の
入込客の増加見込みを観光業者に
周知していただきたい。又地元への
経済効果に繋がる誘客PRに努め
てほしいと思ひます。

本町独自の 奨学金制度の設立を



町長
教育関連の事業を遺贈された浄財
で早い時期に。

議員
遺贈された浄財の活用策
はどのように考えておられ
るか、伺います。

教育長
将来を担っていく子ども
たちの教育関連の事業を早
い時期に創設したいと考えます。

議員
大学・専門学校への教育
費の負担が大きいなどのよ
うに捉えているのか伺います。

教育長
高校進学までは授業料無
償化の制度があり、親の負
担も軽減。大学・専門学校への進
学にはまとまったお金が必要であ
り、家庭の事情で進学を断念する

子どももいると聞いています。

議員
本町からの進学には生活
資金が大きな問題となりま
す。行政として支援する必要があ
るのではないかと伺います。

教育長
南大隅町独自の奨学金制
度の導入を考えています。

町長
奨学金制度は早いうちか
ら何とか作りたいと思っ
ていました。これはUターンを条件
にした奨学金制度と思いますが、
Iターンも含めていきたいと思っ
ています。

議員
南大隅町を背負う若者に、
支給型の奨学金制度の設立
を

コミュニティバス の運行メニュー見 直しを



町長
住民要望に沿った運行経
路等の構築に配慮したいと
考えています。

議員
小型化による運行は考え
られないかと伺います。

町長
懸案事項であると思いま
す。混乗バス等の便数を増
やすことは計画しています。幹線
部分の話を、付随する枝線をミッ
クスして、これも早い段階で何と

か地域の要望等ならびにコースの
設定等を考えながら検討したいと
考えています。

このほかに、雄川の滝への
幹線道路沿いのトイレの整
備について質問しました。



議員のひとり言

遺贈された浄財は活用されなければ意味がないのでは？



新庁舎建築予定地

水谷 俊一 議員

庁舎の耐震化に対する 町長の判断は？



町長 「庁舎は建て替えが妥当である」と
最終本会議で表明する考え

議員

「建て替えか改修か」の判断は施政方針の中で発表されると期待していたが、最終本会議の発表は残念である。一般質問の機会は年4回しかありません。今回、町長とのやりとりが出来ずに残念。平成31年末までに完成する自信はあるか伺います。

町長

シミュレーションでは大丈夫であります。

議員

工事費が町財政に及ぼす影響はどの程度か伺います。

町長

借入額の70%が普通交付税の基準財政需要額に算入

される為、庁舎建て替えの工事費用が町財政や町民生活に大きく影響する事はないと考えています。

議員

庁舎の建て替え費用を13億円と試算しています。その他に、解体撤去費用や駐車場整備費用など、付帯工事の費用は、

総務課長

解体撤去費用に1億3千万円、周辺整備等に1億2千万円程度を試算しています。

議員

これらの費用については、合併特例債の利用は出来ません。また、合併特例債を利用するといっても、実質的には30年返済で12億3千万円を借金するので、銀行からの借入れです。返済額の70%が、普通交付税で補填されると言われますが、平成17年の合併以降、本町への普通交付税は毎年減少しています。今後30年間国が普通交付税で補填し続けてくれると考えますか。

総務課長

仮に、交付税の削減が行われても、公債費における個別算定経費の削減は、地方公共団体への影響が大きいことから、今後引き続き交付税算入されると考えます。

議員

地方交付税の財源が不足しています。これまではその不足額を国債で穴埋めしてきましたが、国もこれ以上の借金は出来ず、地方自治体自ら借金をしてその不足額を補っているのが現状です。地方交付税における国の財政は危機的状況です。

いくら有利な地方債だからと言っても、飛びつき過ぎるのは如何なものかと考えます。まだまだ、借金をしても大丈夫だと考えますか。

町長

国会議員の方々と話す機会があり、伺うと、合併特例債は今、利用した方が良いと言われます。私も、先の事を考えて今やっておくべきだと考えます。

議員

今後、地方交付税は必ず、縮減されます。無理な投資はやめた方が良く考えます。

このほかに、「今回の職員の不祥事をどの様に検証したか、また、再発防止に向け今後どの様に取組んでいく考えか」も質問しました。

議員のひとり言

お金を使い過ぎたつけは、将来必ずやって来ます。転ばぬ先の杖

佐多岬公園 エントランス広場完成!!

佐多岬公園は、環境省、鹿児島県、南大隅町が緊密に連携して、明確な役割を行い新たな整備を進めています。

この度、県が整備を進めていた「公園エントランス」が完成し、22日、現地で記念式典がありました。施設の概要は、佐多岬灯台や三島村の島々などを眺望できる展望広場、観光案内所、トイレ、駐車場などが整備されています。



展望広場

森山ひろし衆議院議員など関係者約100人が参加しました。

整備された施設は、町に無償譲渡され、今後の維持管理は町が担っていくこととなります。

この他、北緯31度線広場、第2駐車場、大泊交差点ウエルカムゲート、水道施設も無償譲渡されました。

今後は、環境省による展望台や遊歩道の整備が平成30年度中の完成を目指し工事が進められていきます。



観光案内所・トイレ

編集後記

今年は突然の雨や雷の異常気象が全国各地で発生しています。これも地球温暖化の影響なのでしょう。

今回、議会だよりをリニューアルしました。

先月議会だよりで全国表彰を受けた福岡県の二つの町へ視察研修に行き、議会広報誌の紙面作りや編集方法を学んで参りました。

町民の皆様が「読みやすく、分かりやすい」広報誌作りに努めます。

後藤 道子

「みんなの議会」の モニター募集!!

南大隅町議会 広報広聴常任委員会では、議会広報誌のモニターを募集しています。

年4回発行される「みんなの議会」に対して、皆様のご意見や感想をいただき、今後の議会広報活動に活かしたいと考えています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】南大隅町議会事務局

☎0994・24・3141

表紙の風景

大浜海浜公園での海開きの様子



【お知らせ】

9月会議は、本庁舎議会議場で開催されます。

「みんなの議会」では見る事ができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

〔発行責任者〕

議長 大村 明雄

〔広報広聴常任委員会〕

委員長 水谷 俊一

副委員長 木佐貫徳和

委員 津崎 淳子

委員 後藤 道子

委員 日高 孝壽

委員 大坪満寿子